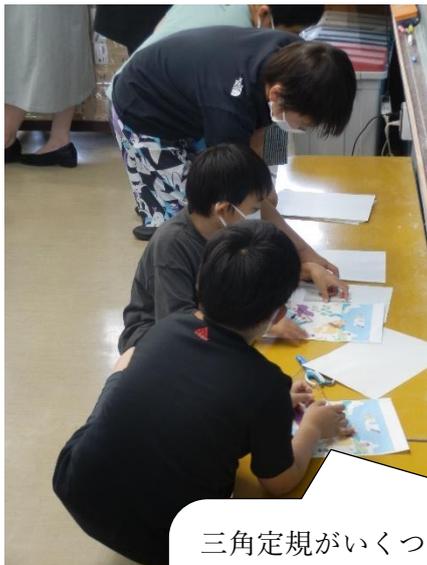


6月19日(水) 語る会 I

校内研修で授業研究を行いました。角の学習の1時間目で、子どもが分度器の必要性を感じるような展開にするためにはどうすればいいか考えました。授業を進める中で、角度の差がペリカンの口の大きさと同じことに気付きました。子どもの思考の流れに沿って授業を進めることで、子どもの意欲や集中力を高め、子ども主体の授業になることを確認しました。



ペリカンの大きさ分大きい。本当だ。でも、ペリカンの大きさは、この絵がないと伝えられないよ



三角定規がいくつも必要だったから友達と協力した。三角定規3つ分と4つ分で比べられたけど…
どれくらいと聞かれたらもっとわかりやすく言いたい。それには、ほかの方法がないかな

